レッスン： PYR 93

テーマ：肉体脳と絶対

PYR 93　KE 08 No.15/18/06

私の姉妹、兄弟たち

スピリット、光そして火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性の中に抱かれています。

質疑応答となります。

Q：知識を生み出す蓄電池として、どのように脳が使われるのか説明して貰えますか？

K：前にも述べましたが、パーソナリティーが現す知識は肉体脳の充電による結果です。その脳とは蓄電池、バッテリーです。その結果、いろいろなチャージ、つまり知識が表現され、この電池を通過するのです。

　もし必要なだけの充電がなされていない脳を通じて知識を通過させようとすると、血液が充満して脳は赤くなり、熱を持つようになります。そしてパーソナリティーはそれを守るために眠ってしまったり、あるいは興味を失ったりします。自分が理解できないもの、または嫌いな何かを観察しようとする人々がそのような反応を示すのを、私たちはしばしば目にします。

　実際、全ての英知は私たちの内側にあるのです。神の英知は全ての人間の内側にあります。なぜなら、私たちの内側に神がいるからです。内側にはLifeがあります。それは現在のパーソナリティーを活性化させるLifeのスパークです。そして私たちが現す全ての知識は実際に内側のスパークから来るのです。

　実際、内側にあるLifeのスパークは何も学ぶということはしません；充電されるのは私たちの脳であり、それによっていろいろなチャージが脳を通過するのです。思考を現すのは肉体脳ではなくてノエティカル体です。しかし、ノエティカル体は知識ではなく、レベルを、つまり思考の仕方を現します。実際それは簡単な知識とは違い、どちらかと言えばLifeそれ自体からの何かです。簡単な知識は脳の充電の結果であり、その結果いろいろな知識がそこを通過するのです。

　時には勿論、何かが生じて、知識が潜在意識のマインドから出てくることがあり、そのような時には何が生じているかを前に説明しました；貯蔵された知識、汎宇宙的潜在意識のマインドに貯蔵されていた知識が出てくるのです。そしてパーソナリティーは何の努力もせず、意識せずにその知識を潜在意識の表面に持ってくるのです。時には勿論、パーソナリティーはファンタジーとしてさえそれを表現するかもしれません。そしてSFの映画となります。しかし、レッスンで説明したように、無からは何もでてきません。それらの映画や本なので表現されているファンタジーですら、その背後にはリアリティーがあるのです。

Q：現在のパーソナリティーはあるポイントで、それはあらゆることから全く離れた別のものだと感じますが、しかしある程度の知識の後、現在のパーソナリティーとしてそれが全ての人間及び神と関係していると理解し始めます。しかし、人が全ての巨大さを認識する時、おそらく明日のことは考えずに現在に生き、全てを未来に任せた方が良いのかもしれません。しかし、そのような場合に関して、対処する他の方法、または別の考え方があるのではと感じています。

Page2

K：あなたは人が実際にやるべきことを述べました：現在の瞬間に生き、次の瞬間のことを忘れる、ということです。その瞬間にできるベストなことをなし、何であれその時直面していることに対応し、未来に直面することを忘れるのです。あなたの現在の理解に従って理解するのです。勿論、創造界および神と自分との関係に関しては、人が理解できることには限界があります。

　そうです、神は現在のパーソナリティーのあまりにも近くにいるので、神の偉大さ、神とは何かを認識できないのです。神は全ての原因であり、それは絶対リアリティーであり、人間がそのことを考え、理解するのは不可能です；それが神なのです。神とは何かを説明するのにそれ以外の言葉はありません。そして人間がそれを理解できる言葉もありません；それはあらゆることの原因であり、全てはその原因の中にあるのです。

Q：神はあらゆるところに存在し、私たちは神の中にいて、全てはそれなりの理由により神の黙想の結果として存在している、ということを理解しています。しかし、私は間違っていると知っているのですが、次のようなイメージを持っています…つまり、神はオーケストラのように全てを編成する存在であると。しかし、あなたは神を一つの個人、単体とは見ませんよね。

K：神は一つですが、そのようには見ません。そうです、私たちは神を内側に見いだすことができますが、しかし同時に全ての中に神はあり、全てのものは同時に神の中にあるのです。それ故に私たち人間の脳がそれを把握し、神とは何かを理解するのは不可能なのです。神はLifeの海であり、唯一の海であり、全てはその海の中にありますが、しかし同時にその海は全ての中にあるのです。

Q：少なくとも、神を自分の外側に探すべきではないということを私たちは理解できますか？

K：神はあなたの内側にあり、神と対面することはできません。何であれ、これが神だと思うものを見るなら、それは（＊神以外の）何かです、例えば投影とか。そのようなステートで神にアプローチできるかもしれません。例えば、もしあなたが人間のイデアのフォームでイエスキリストロゴスを見るとしたら、あなたは神と対面していますが、しかしその本当のステートで神を見ているのではありません。

　それはそのパーソナリティーのイリュージョン、幻想です。それはそのパーソナリティーが把握できる限界です。イエスキリストロゴスとは全体であり、Lifeの海であり、このLifeの海が例えば人間のイデアのフォームとして示されたのです；しかし同時に勿論、そのフォームが神に着せられているのです。実際、人間のイデアフォームを与えるのは元型です。それによって人間が真理にアプローチできるようにです。

Q：私はしばしば思うのですが、Panayia（＊？）に私たちが与える名前、そしてアークエンジェル達という概念、それらを通じて私たちはそれらに対する理解が可能になるのではないでしょうか。なぜなら、それらは波動の密度だからです。

K：実際、それらは神です。それらは複数形ですが、しかし一つである神*です*。

なぜなら神は多重性のステートにあり、皆さんは多重性の中における多重性のモナドセルフを､神のワンネスと切り離すことはできません。その事実を前に説明しました、なぜなら多重性と神との関係、結びつきは量によるのではなく、質によるのです。それ（＊質）が神のワンネスをつなげ、生み出しているのです。

　それ故に、全ての人間、あるいは創造界におけるLifeの全ての現れは一つである、と私たちは言います。例えば創造界には、人間を活性化している様々なスピリットモナドセルフからの様々なスパークがあります。しかし実際、それら全てのスパークはそれら全てのモナドスピリットセルフからであり、それら全てのモナドスピリットセルフが絶対存在のワンネスを構成しているのです。

　ですから勿論、創造界におけるすべての人間はつながっています；私たちは実際に一つです；しかし現在のパーソナリティーとしての私たちはそれを理解しません。なぜなら、進化成長の途上にある現在のパーソナリティーはLifeの本質を現していないからです。それはLifeによって活性化されていますが、しかしLifeと同じではありません。そして勿論、やるべき仕事とは現在のパーソナリティーがそのスパークと一つになることです。

Q：私は思うのですが、multiplicity（多重性）という言葉は時には混乱を招くと思います。なぜなら、もし絶対であるワンネスがあり、それに例えば5を掛けるとワンネスが5倍になります。

（＊multiply という英語の単語には算数の掛けるという意味もあります）

Page3

K：ちょっと待ってください、ここに水の器があり、そこから水を一滴取り出して､そこに入れます、それは同じです。どれほど多くの水滴でも質的には同じです。神の現れも量という面でなく質という面から言えば、全く同じです。

　さて、もしあなたがその一滴の水を器に戻すと、それは自動的に残りの水の一部分となります。あなたはその中のどの一滴が前にあったものか、それを分けることができますか？なぜなら自動的にそれは残りの水の一部分となるからです。

Q：それは多くのユニット（＊構成単位）からできていると思いますが、しかしそれは多重性ではありません。

K：それは多重性です；それが多重性ということです。

Q：いいえ、なぜなら、もし私にコップがあれば、そのコップにX個の水滴があり、私はそれらの水滴を自分の好きな所に移動し、そしてまた元に戻すことができます。しかし私はその量を増やしているわけではありません。もしそれを増やす時には、一滴を取ってそれを何倍にもします。例えば、一滴を20倍にするなら、その時には20の全く同じものを持つことになります。

K：ですから私はスピリトモナドセルフには数というものはない、と述べたのです。

Q：はい、しかし数というものがあろうとあるまいと関係ありません。原理は同じです。それは多重性ではなく、それはユニット（＊単位）です。

K：多くのユニットがあれば、それは多重性ではないのですか？一ユニットは１であり、もし多くのユニットが集まれば一つの大きなユニットとなります。それは多重性です。多くのユニットは何であれそのワンネスにおける多重性です。

Q：もし一つのユニットにあなたが好きな数を掛ければ、掛けただけのユニットが生じます；例えば、もし一つのリンゴに5を掛ければ、5つのリンゴとなります。

K：違います。一を掛けると、ワンネスがあります。そこには多重性があり、数というものはありません。そしてその一を掛けると、その多重性のワンネスがあります。他の数でそれを掛けることはしません。もし一以外の他の数を掛けるなら、5つの神、10の神が100の神が生じることになります。それについて考えてみなさい。そうです、私たちは全てのユニットに一を掛けるのです。

例えば、同じ容器に多くのモナドのユニットがあり、するとその多重性全てのワンネスがあります。それが神です。しかし、もし1つのユニットを取ると、それはつまり水の一滴ですが、再び多重性のワンネスから分かれた神がいます。しかし、それは実際には起こりません。なぜなら、大きなユニットからその小さな部分を取り、それが神の黙想の活動の中に入ります。最内奥のセルフ、それはスピリットモナドセルフであり、それは決してワンネスを去ったことはなく、その海を去ったことはないのです、絶対に。神の黙想の活動の中に入ったのはその小さな部分に過ぎません、なぜならスピリットモナドセルフですらユニットとしての、スピリットモナドセルフとしての多重性の能力があるからです。それはあなたが述べたユニットです。

　私たちの最内奥のセルフは絶えず黙想している神のワンネスの一部です、そして全てのスピリットモナドセルフはそれに参加しています。全員が。それが創造界における微細なスパークを持とうと関係ありません。なぜなら、それらはブレーシス（＊神の意志）を現しているからであり、それゆえに彼等はそれを行うのです。

　いずれにしても、神について述べる時、それは人間がその絶対リアリティーを想像するのは不可能です。そして多くの人々、特に無神論者である人々は皆さんに神のステートについて挑んでくることでしょう。なぜなら、それは彼等が触れてわかる、あるいは彼等に説明できることではないからです。

Ｑ：基本的に多くの人々はその証拠を求めています。

Ｋ：はい、しかし証拠は彼等の前に、周囲に、そして彼等の中にあります。しかし、そのリアリティーにアプローチするためには、そして「神とは何かを知っている」と言えることができるのは、あなたが神を内側から現すステートに達した時だけです。その時初めて、「神が何であれ、自分は知っている。なぜなら、自分はそれを個人的に体験したから」と言えるのです。私たちが生きている諸世界においては、自己実現した人々でさえも“自分達は相対的リアリティーの一番高いレベルを知っている”と言えるだけです。それは現れのそれらの波動のために、つまり実存の諸世界のために、Lifeそれ自体によって与えられたものです。同調を通じてあなたの脳が神にアプローチできるのであり、あなたが神のワンネスと一つになるのではありません。

Page4

 魂のセルフエピグノシスでさえも、魂のセルフエピグノシスとしてのLifeのスパークがスピリットモナドセルフに、最内奥のセルフに戻らない限り、そのように言うことはできません。勿論惑星ロゴスは、神のワンネスの中でスピリットモナドセルフの多重性を知ることができる体験をしています。なぜならそれは自己実現したスピリットモナドセルフから来るからです。

　ですから、実際、諸宇宙は神のワンネスによって“コントロール”されています。そして“惑星ロゴスはその惑星上における全ての人間のために何であれ知るべきことをその瞬間に知っている”と言う時、それは全ての個人に関する全てを詳細に知っている、という意味です。そして“神は創造界における全ての人間について、そして創造界における全てについて知っている”と私たちが言えるのは惑星ロゴスを通じてなのです。

　このリアリティーについては、将来さらにもっと話す必要があります。

Q：スピリットがテオーシスに達すると、自動的にロゴスになるのですか？

K：そのスピリットは既に神、テオーシスの中にいます。そのスピリットは決してそれを去ったことはありません。

Q：それは自動的にロゴスになるのですか？

K：スピリットが、微細な部分が終わりなき神の黙想に参加する結果として、自己実現したスピリットは、その時再びそれ自身の微細な部分を惑星ロゴス、太陽系ロゴスまたは銀河系ロゴスなどのロゴスとして投射します。そこでも、そこにあるのは神です。なぜなら、自己実現したスピリットは全ての“知識”を持っているからです…現れの諸世界で起きることに関して、そして特に最初の転生から自己実現した最後の転生までの現在のパーソナリティーの動き、活動に関して全ての知識を持っています。ですから、何であれ直接的に惑星ロゴスによって目撃されたいかなる体験であれ、それは実際、絶対存在それ自身によって目撃され、観察され、そして“コントロール”されていることになるのです。

　私たちはこのテーマに関して将来より詳しく話す必要があります。なぜなら、それは簡単に短時間で扱えることではないからです。

Q：3つの太陽のエクササイズに関してですが、太陽の中心は球体ですが、大きさはどのぐらいであるべきでしょうか？もしそれらが太陽であるなら､中心核があるはずで、そこからそれぞれの色の光が出てくるのだと思いますが。光は中心から発して来ると思いますが、その中心つまり核の大きさはどのぐらいですか？

K：太陽をテニスボールぐらいの大きさとして見ます。しかしそれは表面ではなくて､光のボール、つまり球体の大きさです。しかし勿論あなたがそれを見る時には、それは皿（ディスク）のように見えます。それは光の玉であり、それは輝きの中心部です。そしてその中心が完全に活性化するとそこからそれぞれの色が輝きます；ホワイトピンク（＊淡いピンク）、金色、そしてホワイトブルー（＊淡い水色）。

　その前に、それら3つは皆、多くの色を輝かせており、ハートのセンターではより多くの色があり、太陽神経叢では色はそれより少なくなっています。そして3つのセンターが活性化すると非常に速く回転するので、その結果として1つの色になり、そして右回りに回転します。そして現在のパーソナリティーが影としての五感を使用している時には、それらは反時計回りに回転しています。

Q：それらの動きをも見るべきですか？

K：ノー、動きは皆さんが見るべきではありません。それは現象（＊超能力的なもの）にフォーカスしている人間達がやることです。そのようなパーソナリティー達は低次の波動のエレメンタルを利用しているのです。

Q：それでは確認したいのですが、エクササイズをする時はディスク（丸い皿）を見るのですか、それとも球体を見るのですか？

K：球体を見るべきです、丸い皿状は皆さんが見るべきものではありません。しかし、球体を離れた所から見るとそれは皿のように見えます…3次元的に立体として見ることができなければ、実際にその球体を様々な角度から見ることができない場合にはそのように見えます。もしあなたが静止していて、球体もあなたの前で静止している場合、その時には表面だけが見えます…3次元的に球体を見ることができない場合には。

Q：意識的な状態で何かを決断する場合、私たちは利用可能な情報と共にいろいろ比較します。そして結論または決断を下します。潜在意識には汎宇宙的潜在意識のマインドによって記録されたものが、私たちの個人の潜在的マインドに貯蔵されています。

　私の質問は潜在意識のマインドには比較し、結論づけをする能力があるのかどうか、それとも単なる大きな貯蔵庫に過ぎないのか、私がその潜在意識に足を踏み入れて質問をしたり、何かに関する願望を表明し、そして必要な情報や答えが表面に浮上するのを待って、そこから意識的に選択することができるのかどうか、というものです。

K：潜在意識それ自体は比較することができません。それはポットの中にある、全ての情報が貯蔵されている海とみなすことができます。現在のパーソナリティーがそれらの情報にアプローチする適切な方法とは、気づきを高めることです。

　しかし、個人的な記録以外に、進化成長の途上にある現在のパーソナリティーはどのようにしてそれにアプローチできるでしょうか？個人的記録という時、それは現在のパーソナリティーに関してですが、しかし成長の結果としてパーソナリティーは過去の転生の体験さえも表面に持ってくることができるかもしれません。しかし、それらはコントロールされているわけではありません。そして勿論、準備ができていない現在のパーソナリティーが、利用可能な多くのテクニカルな手段によってそれを試みるようなことはお勧めできません。

Q：時には何か問題に出会うと、“その上で寝て待つ”と言います。それは早急に結論づけをしないという意味です。そして或る日突然、“あー、その問題にどのように対処したら良いかわかった”と言います。ですから、明らかに何かが潜在意識下で働いていて、ある時それが潜在意識の表面に浮上するということでしょうか？

K：知識は常にそこにあり、現在のパーソナリティーがそれを表面に持ってくるかどうかの問題です；何であれ現在のパーソナリティーにとってベストなことが。それは眠りに入らずに表面に持ってくる努力です。

　なぜなら、あなたが絶えずそれについて考えていると、最後には結論に到達します、しかしそれがベストな結論か否かの完全な確信を得ることはできません。それがベストな結論であるという意味ではなく、その現在のパーソナリティーにとっては考えつくことのできるベストな解決策であるということです；何であれ原因結果の法則が許すこと、それが現在のパーソナリティーの結論となるのです。しかし、あなたにはそれを他と比較するものがないので、それがベストであるという結論に到達するのです。

　それが個人的なものまたは汎宇宙的なものであろうと、そこから得たものを、顕在意識で知っているものと比較することはできません。

Q：ヒーリングの場合、理想的な方法として現在のパーソナリティーまたは関係者に完全な健康についての情報を知らせます。もし現在のパーソナリティーがそれを信じるなら、何がベストであるかのイメージが形成され、それがその人の意図となり、その目的が現実化するということですか？

K：それもまた原因結果の法則によります；あなたが言ったようにすれば助けになるでしょう。しかし、だからといって必ずしもそのパーソナリティーはその結果、症状が消えるというわけではありません；しかし、痛みなどに関する状態は良くなるでしょう。もしそのパーソナリティー本人が、自分が良い健康状態にあることを視覚化すれば、それは助けとなるでしょう。あるいはもしあなたが誰かのために視覚化するなら、ある程度までその人を助けることになるでしょう。

　一般的に、心配しない、ネガティブにならないようにすると、自分自身にも他の人々にも助けとなります。しかしもし絶えず心配して、ああなるかもしれない、こうなるかもしれない、自分は気分が良くない、などと思うと、その人は常に自分の健康を害していることになります。

　記録されている潜在意識のマインドにアプローチできる唯一のことは、何であれその個人に関することです。おそらく過去生の出来事を見に行くことはできるかもしれません。しかし、創造界における誰か他の人の出来事をそのようにして見に行くことはできません；コントロール無しに情報が表面に浮上してくるかもしれません；出来事が浮上した結果として問いが生じたり、未来の地球についての出来事が出てくるかもしれません。そして他の無数の惑星上で生じた出来事を見ることによって、この地球においてそれらの幻想、ファンタジーを体験してきました。そして私たちは今でも将来この地球で起きることを、SFの現れとして見ています。

Page6

Q：五芒星を自分の周りに置く時、白い線でそれをつくりますが、内側もまた白いのですか？

K：まず初めに、探求者が五芒星を創造するときは、線を見て、そして自分の手の動きで線を描きます。しかし、ひとたび何が五芒星かがわかり、あなたがその中に立っているなら、その時にはその五芒星を白い光の輝きで満たし、それは3次元的なものとなります。なぜなら、そこには身体がその中にあるための厚さがあるからです。

レッスン　PYR 93 エクササイズ　No.1

目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…白い自分自身を見て、自分の形の境界を見ます、そして同時に純白の光に輝く五芒星の中にいる自分を見ます…

　深くて快適な呼吸をします…息を吸う時は白いあなたがますます白く輝き…息を吐く時には、あなたの内側にあるネガティブなものが消えていきます…あなたの心配その他が消えていきます…深くて快適な呼吸を続けます…あなたはますます輝いていきます…白いあなたがますます輝いていき…内側がたくさんのエネルギーで満たされていきます…あなたの状態の中に入るエネルギーを感じ、ネガティブなものが全部出て行くのを感じます…

　今やあなた自身の白さがとても輝いているので、もはやあなたの中にはネガティブなものがまったくない状態になりました…そして深くて快適な呼吸を続けます…そして今や呼吸器官だけで呼吸しているのではなく、身体全体で呼吸しており、あなたの身体はスポンジのようになっています…身体全体で呼吸しています…身体の全ての原子、細胞、そして分子から呼吸しています…

　この状態では、あなたの3つの体はすべて健康であり…あなたはエネルギーで満ちています…良いエネルギーをブロックするものは何もなく、なんであれ良いものが内側で現れています…あなたの良い健康だけが身体のなかにあります…深くて快適な呼吸を続けます…あなたはどんどん輝いていき、エネルギーで満ちています…そしてあなたの体に良い健康を与えるこの素晴らしいエネルギーが常にそこに留まっていることを願います…どんなネガティブなものも決してあなたという存在の中に入ることはできません…

　あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います…最愛のお方のアガピと祝福があなたと共に、あなたの愛する人々に、あなたの家庭に、そして世界全体にありますように…

　私たちは主、絶対、主の聖性の中に抱かれています。終わります。

EREVNA PYR 93 KE08 No.15/18/06